

「土木コレクション2015 HANDS + EYES in札幌」 「土木カフェ」

開催報告

■日 時： 10/12(月・祝)-10/13(火) 9:30 - 19:00

■場 所： 札幌駅前地下歩行空間 キタサン HIROBA

【パネル展示】

土木の魅力、土木の範囲の広さや奥深さを一般市民の皆様にご実感していただくことを目的として、土木界が保有する明治から戦前にかけての歴史的資料、土木施設等の図面から、北海道にゆかりのある23枚のHANDS+EYESコレクションパネルを展示公開しました。

今年は、土木関係者やチカホの通行者など、両日合わせて約300名の方々に来場頂きました。来場者には、印象に残ったパネルに投票してもらうとともに、多くのコメントや感想をいただきました。これらのパネルについては、11月16日(月)から18日(水)の間、地下歩行空間にて展示予定です。

【特別座談会】

12日には、特別座談会「ドボクって素敵でしょ！ー北海道のドボクの価値を未来に伝えていくための、モノ、コト、ヒトー」を開催し、約50名の来場者に参加頂きました。

最初に、九州大学の樋口准教授から、大分県の白水ダムなど美しい土木構造物の写真を豊富に交えながら、その造形美や建設に携わった技術者の情熱についてお話し頂きました。その後、原口氏から「名井九介」「岡崎文吉」などの人物紹介、石川氏からは函館漁港の改修まつわるお話をいただき、今尚之史には、各メンバーへ教育の観点から質問を頂きました。

【土木カフェ】

パネル展示会場では、「土木カフェ」が同時開催され、85名の来場者で賑わいました。元コンサドーレ札幌の選手で現在スポーツ選手の教育に携わっている曾田雄志さんらをゲストに迎え、まちづくりや教育に活用できるインフラの上手な活用方法について議論を行いました。



会場の様子



パネルに見入る来場者



樋口准教授の講演



土木カフェの様子